

看護学研究者全員で挑むイノベーション

大型研究マネジメントと研究費の継続的獲得のヒントを学ぼう

第16回JANSセミナーは新型コロナウイルス感染の状況を考慮し、WEB受講といたします

- **申し込み**：第1期 2020年5月12日（火）～6月22日（月）
JANSホームページからお申し込み下さい。
- **受講資格**：会員のみ 人数制限無し
- **参加費**：Web受講 会員3,000円
- **配信期間**：2020年7月6日（月）～10月2日（金）
参加費入金確認後、受講URL・パスワードを送付します

開催趣旨

日本看護科学学会(JANS) 研究・学術推進委員会では若手研究者の育成を目指し、会員に対する「大型研究費の獲得を目指した支援」を始めました。若手研究者とシニア研究者を幅広く含んだ複数の研究チームを構成し、学術向上や政策提言、国際的な研究成果の公表増加につなげ、看護学研究者によるイノベーションに挑戦する活動です。

大型研究の基盤には、現場における試行的研究や小規模研究によるエビデンスの積み重ねがあります。看護学研究者がイノベーションを実現するため、若手からシニアまで、大型研究に果敢に挑戦する人から小規模な研究に地道に取り組む人まで、全ての看護研究者が共に学びあい、研究技法やマネジメントスキルを洗練させ、エビデンスを蓄積する必要があります。

本セミナーでは、まずJANS「大型研究費獲得支援」事業とその準備段階の分析を紹介します。そして大型研究を運営・実施している領域代表者から大型研究のマネジメントについて伺います。さらに、科研費の審査体制や学術研究動向に詳しい日本学術振興会・専門研究員から科研費を継続的に獲得していくためのヒントを学びます。

看護学研究を担うあらゆる世代・立場の皆さまが、イノベーションに貢献する研究を実現するためのヒントを見つけていただければ幸いです。

配信内容

理事長挨拶 真田 弘美(JANS理事長/東京大学)

司会挨拶 酒井郁子(研究・学術推進委員会 委員/千葉大学)

講演1: JANS大型研究費獲得支援の概要と新学術領域研究の過去の採択領域の分析

講師: 深堀 浩樹(研究・学術推進委員会 委員長/慶應義塾大学)

講演2: 新学術領域研究「自己制御精神」「思春期主体価値」の構想・申請・運営の実際

講師: 笠井 清登(新学術領域研究 領域代表者/東京大学)

講演3: 科研費を継続的に獲得し、エビデンスを積み重ねていくために

講師: 正木 治恵(日本学術振興会 専門研究員/千葉大学)

ごあいさつ

皆さま、COVID-19への不安が続く状況にありながら、未来を担う学生への教育に、ICTツールやVR技術を駆使して最高の教育を提供することに尽力されていることと存じます。一方、このパンデミックの状況は看護研究の在り方に劇的な変化をもたらしました。今まで考えていた未来の姿は大きく変わり、研究者には新たなオリジナリティの創出が求められます。看護科学を標榜する当学会としては、この変革の時期に、看護のイノベーションを起こすために与えられたチャレンジの機会ととらえています。そのためには看護界が一丸となって、大きなプロジェクトに果敢にチャレンジする必要があると考えました。

このセミナーは研究・学術情報委員会の委員長である深堀浩樹先生に企画いただきました。パネリストとして、精神保健の領域で大型プロジェクトを主導してすばらしい成果をあげていらっしゃる東京大学医学系笠井清登先生をお招きし、看護科学における大型研究プロジェクトの在り方や具体的な進め方についてディスカッションすることを趣旨としております。

大学院生、若手研究者、シニア研究者の英知を結集して、この難局を乗り越え、未来への希望へとつながるセミナーとなることを、願ってやみません。

2020年5月6日

公益社団法人日本看護科学学会 理事長 真田 弘美

講師紹介

深堀浩樹 先生(慶應義塾大学大学院看護医療学部/教授)

1999年東大医学部健康科学・看護学科卒業後、2007年同大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻より博士(保健学)を授与。虎の門病院看護師、三重県立看護大助教、米ペンシルバニア大看護学部客員研究員、東京医科歯科大学大学院保健衛生研究科准教授を経て、2018年より現職。



笠井清登 先生(東京大学大学院医学系研究科/教授)

1995年、東京大学医学部卒、東大病院精神科、国立精神神経センター武蔵病院精神科などで臨床の研さんを積み、2008年より現職。

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「脳・生活・人生の統合的理解にもとづく思春期からの主体価値発達学」
<http://value.umin.jp/index.html>



正木治恵 先生(千葉大学大学院看護学研究科/教授)

千葉大学大学院看護学研究科修了後、東京女子医科大学病院看護師を経て、千葉大学看護学部教員。東京大学にて博士(保健学)取得。1999年より文部科学省高等教育局医学教育課看護教育専門官に従事し、2002年より現職。2019年より日本学術振興会専門研究員(医歯薬学専門調査班)

